

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成26年4月3日 (2014.4.3)

【公表番号】特表2013-531324(P2013-531324A)
 【公表日】平成25年8月1日 (2013.8.1)
 【年通号数】公開・登録公報2013-041
 【出願番号】特願2013-520721(P2013-520721)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/44 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/06 6 2 0 A

G 0 6 F 9/44 5 3 0 P

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月14日 (2014.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

X M L (Extensible Markup Language) ファイルを用いてオブジェクト指向スクリプトツールをサポートするコンピュータ実装方法であって、

前記 X M L ファイル中の第 1 タグを用いてスクリプト言語でソフトウェアクラスを定義するステップを含み、前記ソフトウェアクラスは少なくとも 1 つのメソッドを有し、

前記 X M L ファイル中の第 2 タグにおける前記少なくとも 1 つのメソッドを呼出すステップを含む、方法。

【請求項 2】

X M L パーサを用いて前記 X M L ファイルをパースするステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 X M L ファイル中のタグを用いて前記少なくとも 1 つのメソッドを定義するステップをさらに含む、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 X M L ファイル中のタグを用いて、ソフトウェアオブジェクトが前記ソフトウェアクラスのインスタンスであるか否かをチェックするステップをさらに含む、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

クラスの拡張および継承と、メソッドオーバーライドと、インスタンスの多態性と、特別の “ t h i s ” および “ s u p e r ” インスタンスとの少なくとも 1 つをサポートするステップをさらに含む、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

前記 X M L ファイルのタグ中の、インスタンスメソッド呼出し構文をサポートするステップをさらに含む、前記構文は “ [c l a s s r e f e r e n c e] . [m e t h o d n a m e] ” のフォーマットになっている、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

タグが不明要素であると判断された場合、前記 X M L ファイル中の前記タグをインスタ

ンスメソッドを呼出するための前記構文に関連付けるステップをさらに含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

タイプ定義テーブルを用いて前記インスタンスメソッド呼出し構文を定義するステップをさらに含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記方法はさらに、

1 つまたは複数の汎用アプリケーション構築スクリプトを前記ソフトウェアクラスにカプセル化するステップと、

別のソフトウェアクラスにおける 1 つまたは複数の特定のアプリケーション構築スクリプトを実行するステップとを含み、前記別のソフトウェアクラスは、前記ソフトウェアクラスから拡張または継承される、請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

前記方法はさらに、

1 つまたは複数の汎用ドメイン管理スクリプトを前記ソフトウェアクラスにカプセル化するステップと、

別のソフトウェアクラスにおける 1 つまたは複数のドメイン管理スクリプトを用いて特定のドメインを起動させるステップとを含み、前記別のソフトウェアクラスは、前記ソフトウェアクラスから拡張または継承される、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

前記ソフトウェアクラスは、別のソフトクラスのインスタンスを引数として受入れることができるユーティリティクラスである、請求項 1 から 10 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 12】

前記オブジェクト指向スクリプトツールを用いてデータベースにリンクするステップをさらに含む、請求項 1 から 11 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 13】

オブジェクト指向スクリプトツールを用いてアプリケーションを異なるサーバに配布させるステップをさらに含む、請求項 1 から 12 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 14】

1 つまたは複数のコンピュータシステムで実行されたときに、請求項 1 から 13 のいずれか 1 項に記載の方法を実現する指令を含む、コンピュータプログラム。

【請求項 15】

請求項 1 から 13 のいずれか 1 項に記載の方法を実行するように構成されたコンピュータシステム。